

第18回 定期演奏会

Shida Mandolin Guitar Ensemble

志太マンドリン・ギターアンサンブル



2005年12月11日(日)

藤枝市民会館ホール

開場/13:30 開演/14:00

[主催]

志太マンドリン・ギターアンサンブル

<http://homepage3.nifty.com/shidaman/>

[後援]

藤枝市教育委員会・焼津市教育委員会・大井川町教育委員会・岡部町教育委員会

Program

第一部 マンドリンオリジナル

マンドリニストの生活

J.B.Kok

杜の鼓動～魂の還る場所～

丸本大悟

梨の形の舞曲

桑原康雄

***** 休憩 *****

第二部 映画音楽特集

オブリビオン 「エンリコ4世」より

A. Piazzolla

メモリー 「キャッツ」より

A. L. Webber

マイ・ハート・ウィル・ゴー・オン 「タイタニック」より

J. Horner

ひまわり

H. Mancini

美女と野獣

A. Menken

男はつらいよ

山本直純

世界の約束 「ハウルの動く城」より

久石 譲

私のお気に入り 「サウンド・オブ・ミュージック」より

R. Rodgers

サンライズ・サンセット 「屋根の上のヴァイオリン弾き」より

S. Harnick

トゥナイト 「ウエスト・サイド・ストーリー」より

L. Bernstein

踊り明かそう 「マイ・フェア・レディ」より

F. Loewe

■ ごあいさつ ■

志太マンドリン・ギターアンサンブル部長 米村 文子

本日はお忙しい中、第18回定期演奏会にご来場いただき、誠に有り難うございます。私達がこうして活動出来ますのも、皆様の暖かいご支援の賜物と心から感謝しております。

私達のクラブは1987年2月藤枝市在住者を中心に15名で活動を開始し、広幡公民館のマンドリン教室を母体とし「藤枝マンドリンクラブ」として発足しました。そして、第10回の定期演奏会の折、メンバーの居住や活動範囲が広がったため、志太マンドリン・ギターアンサンブルと改名しました。

活動としては、定期演奏会の他に病院、老人ホームなどへの慰問演奏、市民文化祭への参加、2年に一度の春のサロンコンサート、また県内のマンドリンクラブとの交流を深めるマンドリンフェスティバルにも参加しています。最近では結婚式をはじめ各種パーティや喫茶店でのミニコンサートにも声をかけて頂き大変な励みになっております。

未熟ではありますが、精一杯演奏致しますので、どうぞ、最後までごゆっくりお聴き下さい。

曲目解説

第1部 マンドリンオリジナル

マンドリニストの生活

J.B.コックは1889年に生まれ、1954年に没したオランダのマンドリン界を代表する作曲家です。当初はバイオリン奏者として名を馳せましたが、余技として手掛けていたマンドリンやギターの音楽性を認めると共に、「セビリアの少女たち」や「マンドリンオーケストラの為のソナチネ第一番」、序曲「魅惑島」などの多くのマンドリン作品を生み出しました。

この「マンドリニストの生活」は8分の6拍子を細かく刻みながら軽快なテンポで展開するマーチ仕立ての曲です。中間部ではやわらかな中低音のメロディに高音の優美なリズムが心地よく響き渡り、やがて晴れ渡る空の下での荘厳な行進が思い浮かばれるような堂々たる演奏へと続きます。冒頭のメロディに戻ってからも、低音部の歯切れの良いリズムが終始飽きさせることなく展開していきます。

第18回定期演奏会はこの曲とともに始まります。私達マンドリニストの勢いと共に、最後まで楽しんで頂ければ幸いです。

杜の鼓動 ～魂の還る場所～

志太マンでは最近現在活躍している邦人作曲家の作品を演奏したいという路線で選曲をしており、藤掛廣幸氏、小林由直氏、桑原康雄氏の作品を演奏してきました。今年はどうしようかと頭を痛めていたところインターネット上での人気投票にこの「杜の鼓動」がランキングされているのを知って検討した結果、第2楽章の「魂の還る場所」を演奏してみようということになりました。

この曲は第1楽章「櫻の風景」、第2楽章「魂の還る場所」、第3楽章「街の灯」の全3楽章から構成されています。3つの楽章はすべて単独で初演されており、組曲として全楽章を通して演奏されたのは昨年夏の夏のことでした。

「魂の還る場所」での杜は、「神社や寺院の周りの森」で、これは初演された場所が、今なお「杜」の多く残る京都であったことによるそうです。

梨の形の舞曲 (2001年京都教育大マンドリンクラブ委嘱作品)

昨年の定期演奏会で桑原康雄氏の「初秋の秋」を演奏して、私たち部員はもちろんお客様にも人気を博しました。桑原氏は2003年12月に56才の若さで急逝してしまいましたが、彼の作品を収録したCDを購入したところこの「梨の形の舞曲」を弾いてみたいということになりました。ところが楽譜は日本の出版社からは出ておらず、ドイツの出版社から取り寄せることに。ようやく手にしてみれば、マンドリンのハーモニクスというめずらしい演奏法の指示が記載されており、マンドリニストでもある桑原氏の奥様に演奏法を問い合わせるなどして練習をしてきました。

また、桑原氏は生前ライフワークとして1992年から2000年の間、神戸国際音楽祭を開催し、マンドリンを中心とした撥弦楽器による国際交流を行い、マンドリン音楽の更なる普及と発展を図っていました。それが今年8月「神戸国際音楽祭2005」として復活し、志太マンからもコンマス夫妻が聴きに行き参りました。

以下、梨の形・・・の曲目紹介と離れますがこの音楽祭の感想を紹介したいと思います。

コンマスのつれづれ・・・

国際音楽祭というだけあって普段きけない音色、技法、楽器がもりだくさんでした。消化不良もいいたこです。

ルクセンブルグ・マンドリン・クインテット

女性2名 (1st, 2nd)、男性3名 (ドラ、ギター、ベース)

この女性のスカートが短い!!!。なおかつ両足を足代にのせて弾きます。これではなかなか演奏に集中できなかったのは私だけ? 最後の曲で最後の音を弾き終わったあと全員が楽器を持ち上げて最後にひっくり返りました。余韻をあげてほしい・・・という表れかと・・・

ドムラ という楽器

1本弦4コースのドムラ ロシアの女性

撥弦楽器の特徴を活かしきった演奏でした。超人的技法にただ嘖然。1本弦でもトレモロあり、ただし1本弦の為、それを補うべくそのスピードは速い。昨年バラライカを買いましたが、こっちがほしい・・・

アルスノヴァ

行くことを決めてから「梨の形・・・」がプログラムにあることを知りました。曲はいろいろな解釈、演奏法があつて当然ですが、ここまでの表現は私の想定外。感服しました。ギターが後列に横並び、人数の割に迫力もありました。全員の表現がまとまっている、ってすごいと思いました。

アンサンブル・フィルムジカ

桑原氏がつくったアンサンブル。外見であつとビックリしたのは楽器の構え方でした。アルスノヴァは個人主義。私達のような構えが多いのですが、逆足も、両足も。フィルムジカのマンドリンは全員統一で左足が足台、そして楽器をまさに抱え込みます。必然的に体は全体に前のめりとなります。私は初めてみました。いろいろな新鮮な響きがちりばめられていました。奏法もいろいろで要は自分たちの音をいかに表現するか？ G線のトレモロをしながら片方の弦を音を低くしてまたあげて。楽器をたたりたり弦をこすったり。ハーモニクスは、あちこちにちりばめられていました。

桑原氏がはじめた音楽祭ということなのか全体に前衛的で現代風。また出演者の技量の誇示もさげがたい傾向カモ。神戸はかなり刺激的でした。

第2部 映画音楽特集

いつもアンケートをとると希望が多いのが映画音楽です。今年の4月のサロンコンサートでも映画音楽を特集し今回はその第2弾。2部の司会進行をしてくださる山口弘三さんは大の映画ファンです。彼の司会はステージ上にいる我々にとっても楽しみであり、その知識に驚かされます。どうぞ山ちゃんのトークをお楽しみください。あつ、もちろん我々の演奏もです。(笑)

★ステージメンバー★

指揮 司会	石川伸行 (第一部) 安達由美子	長谷川淳一 (第二部) 山口弘三 (特別友情出演)		
Mandolin ★	Mandola Tenor ★	Guitar ★		
◎鷺山正二 村松美雪 高宮五百子 鷺山美知子 中村敏子 園田美穂子 大石早苗 *小島寿摩子	◎増井綾子 松本はる江 鈴木和美 内川多都子 *田村佳子	◎村松信子 長谷川雅美 山口明子 水元雅弘 谷渡一男 田中愛彦	Mandolincello ★	Contrabass ★
	◎米村文子 *藤田伸			Percussion ★ *坂本陽子

◎パートリーダー *賛助者

志太マンからのお知らせ

部員募集 (全パート)

経験者でも未経験者でも大歓迎です。随時募集しています
音楽が好き！な方お待ちしております。

練習時間 ★毎週木曜日 19:30~21:30
練習場所 ★藤枝市生涯学習センター

マンドリン講座 (いつからでも参加できます)

練習時間 ★毎週土曜日 19:30~20:30
練習場所 ★藤枝市生涯学習センター

出張演奏いたします

問い合わせ先 TEL 054-643-7586 (わしやま)
mail: EZE04156@nifty.com
志太マンホームページ <http://homepage3.nifty.com/shidaman/>